

プロドキュメンタリーを撮っていた頃の 睡眠時間は、2、3時間。何度も倒れたけど エネルギーって、使えば使うほど湧き出てくるんです

今年の5月、日本の小学校に通う中国の少女を取材したドキュメンタリー番組がテレビで放映されました。タイトルは「小さな留学生」。制作したのは、当時まったくのアマチュアで、本人も「留学生」だった張麗玲さん。来日11年目、現在は中国のテレビ番組を日本で放映するCS放送局「CCTV大富」の社長。「日本と中国は、隣同士なのにいちばん遠い国かもしれない。お互いの誤解や行き違いを解いて、両国のかけ橋となるような仕事をしていきたい。」——そう語る張さんに、お話を伺いました。

CSスカイパーフェクTV「CCTV大富」社長
張麗玲さん



PROFILE

ちょうれいれい ●1967年、中国・浙江省に生まれる。北京で女優として活動後、'89年来日。'95年、東京学芸大学・大学院を修了し、大倉商事に入社する。同年、仕事の傍ら中国人留学生のドキュメンタリーを4年間かけて制作。この番組は'99年から今年にかけて中国全土で放映され、大反響を巻き起こした。現在、中国中央電視台の番組を24時間放送するCSスカイパーフェクTV「CCTV大富」社長。

ドキュメンタリー 「私たちの 留学生活～ 日本での日々～」



張さんが制作した10本のドキュメンタリーシリーズ。さまざまな年齢の中国人留学生たちのありのままの姿が描かれている。異国で苦悶しながら暮らす留学生の姿は、中国の人々の胸を打った。また、番組を通して「冷たくない日本人」を見て驚く人も多かったという。そのうちの1本「小さな留学生」は日本でも放映された。9歳の少女・張麗玲ちゃんが、東京の小学校で過ごした2年間を追っている。聡明な張麗玲ちゃんが、孤軍奮闘する健気な姿が感動と涙を誘う。

1989年、「改革・開放」(※注1)政策の本格化で、それまで抑えられていた中国人の目が、いつせいに外に向き始めた頃、「外国に出たい」「お金を稼ぎたい」……そんな思いを胸に中国をあとにする人が急増した。張麗玲さんは、その当時22歳。「日本に来たかったのではなく、中国を出てみたかった。ただ、留学という名目でないと出られなかったから、私も、同じ飛行機に乗った30代、40代の男性たちも、みんな「留学生」。でもだれも日本語を話せない。私も飛行機の中で「こんにちは」だけ覚えて成田に降り立ったんです。そのとき、張さんが空港で見たのは、仕事も家族も国において、外国でひとつの夢に人生を賭けようとしている同胞たちの姿。言葉もわからない、何も持っていない——崖っぷちで、何かに立ち向かおうとする人々の表情だった。

文化大革命(※注2)の真っただ中で子供時代を過ごした張さんは、そのとき「これは歴史のひとコマだ」と強く感じたという。「文革を経て、改革・開放——そして今、中国は猛烈な勢いで近代化しつつあります。その流れの中にいる私たち、留学生は、はいたが、その流れ

情を映像に収めて後世に残したいと、そのときから思い始めました」

6年後、張さんはひとりでフジテレビを訪ねる。「中国人留学生のドキュメンタリーを撮りたいから、古いカメラを貸してくれませんか」——常識はずれともいえる頼みに、初めて興味を示し、耳を傾けたのが、フジテレビの横山隆晴プロデューサー(当時)。「力強い協力の者、よき理解者の出現。放映されるメドはまったく立っていないなかったけれど、これが、のちに「私たちの留学生活～日本での日々」と名づけられたドキュメンタリー番組の制作のスタートだった。

「改革・開放」直後に、成田に降り立った中国人たち。 人生のすべてを賭けていたあの顔を、記録したかった

その頃の張さんは、大倉商事という会社に勤務。番組制作は、商社OJとの二足のわらじで進んだ。苦しかったのは「時間が足りない」こと。会社が終わってから、留学生の家や会社で撮影。何百回もの取材対象者に会って協力を求めたり、撮影許可をとるために走り回

しか眠れなくても、朝9時にはOJの顔で出社。よくパソコンに向かって目を開けたまま眠りました(笑)。頭の中は番組のことについて、でも絶対に仕事でミスしたくないから、会社にいるときは緊張しきってました。倒れて、入院したこともありましたよ」

自分の時間を、睡眠すら削って、体をこわして、有り金をはたいて、なぜ——しかも、放映

されるあてもないというのに、「撮影中の4年間、取材した人たちから、毎日感動をもらっていたんです。そうすると、自分の体とか、お金なんてどうでもよくなってしまふ。あとは感動のありのままを、ほかの人に伝えたいかった」

それにしても、何の見返りも期待することなく、すべてを「撮ること」に捧げていたのだ。異国で就職して生活するだけでも苦勞や忍耐が想像されるのに、さらにその生活をギリギリまで犠牲にする——けれど、張さんには